

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月25日実施)	総合評価(3月31日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>① 基礎学力や思考力・判断力・表現力を育むための、柔軟なカリキュラムを策定する。</p> <p>② 生徒の主体的・協働的学びを引き出す授業改善に取り組む。</p> <p>③ 特別活動を充実させ、主体性・社会性と自己肯定感を高める。</p>	<p>① 社会人として必要な基礎学力を意識した学習指導を行う。</p> <p>② 生徒が学習単元の見通しを持ち、学び合いの観点から、主体的・協働的・対話的な学習に取り組めるような工夫をする。</p> <p>③ 学校行事をはじめとした特別活動への生徒の主体的な参加から達成感を育む。</p>	<p>① 習熟度別学習や個別学習を行い、生徒個々の力に応じた学習指導を行う。</p> <p>② 授業時にねらいを明示し、振り返りを行うことによって、個々の理解を深める。</p> <p>② グループワーク等対話型の授業形態を採り入れる。</p> <p>③ 大運動会やミニ文化祭等の学校行事への参加を促し、生徒に主体的に取り組ませる。</p>	<p>① ② 生徒による授業評価において、基礎学力に関わる取組状況や、授業への見通しと振り返りに関する学習活動等に肯定的評価が得られたか。</p> <p>③ 学校行事や部活動を通して生徒に達成感を与えることができたか。</p>	<p>① 習熟度別授業では、2学期の生徒による授業評価において、全ての項目で1学期より高い評価となった。</p> <p>② 振り返りを行うことで、授業のねらいが分かるようになった生徒が8割近くとなった。</p> <p>③ 大運動会は生徒会を中心に新しい種目を考え、ミニ文化祭は、70%の生徒が意欲的または興味を持って参加できた。</p>	<p>① 学校として生徒に身につけさせたい力を教科・学年ごとに定め、その目標達成に向けた指導を行う。</p> <p>② 生徒の主体的な学びを活性化させるため、より対話的な授業を展開する。</p> <p>③ より魅力的な企画や種目を生徒が主体的に考えることができるよう指導し、学校行事への参加者を増やしたい。</p>	<p>① 習熟度別授業やモジュール授業は生徒のニーズを把握した上で更に改善できるとよい。</p> <p>② 見通しと振り返りは、生徒が主体的に学習することにつながる。アンケート等からも学習効果が出てきており評価できる。</p> <p>③ 運動会を意欲的に取り組んでいるのはすばらしい。部活動も活性化しているようで活動の場があることは大切である。</p>	<p>① モジュール授業の時間数を増やしたが、生徒の事後アンケートにより、内容と量の検討が必要である。</p> <p>・習熟度別授業は生徒からも高評価で、継続していきたい。</p> <p>② 授業のねらいと振り返りを全科目で行い、生徒の授業内容把握に効果があった。</p> <p>③ 第2回大運動会で生徒企画の種目を取り入れ、ミニ文化祭では、70%が「意欲的に取り組めた」と答えた。また、民族舞踊の披露など、新規に国際理解の充実を図った。</p>	<p>① モジュール授業については、適正な質と量を改善する。</p> <p>・習熟度別授業については、適正な規模で継続していく。</p> <p>② 主体的・対話的で深い学びに向け、全科目で「書く・話す」取組を設置する。</p> <p>③ 企画から運営まで、生徒がより主体的に取り組む学校行事を検討する。</p>
2 生徒指導 ・支援	<p>① 個に応じた支援体制を充実させる。</p> <p>② ルール・マナーを尊重する態度を育成し、規律ある学習環境と生徒が安心できる学校環境を整える。</p>	<p>① 生徒情報を教職員全体で共有するとともに、SCやSSWと連携することで、個別の支援体制を充実させる。</p> <p>② 就職や進学など進路指導につながる生徒指導という観点から、ルール・マナーを尊重する態度の醸成を図る。</p>	<p>① 定期的にケース会議を行う。</p> <p>② SCやSSWと定期的に会議を行う。</p> <p>② キャリアGと連携し、進路指導を見据えたルール・マナー指導を行う。</p>	<p>① 月に1回程度のケース会議を行ったか。</p> <p>① SCやSSWとの協力関係が築けたか。</p> <p>② 生徒のルール・マナーに対する意識に向上が見られたか。</p>	<p>① 毎月、ケース会議を開くことで、職員間の情報共有を密にすることができた。</p> <p>① SCによる職員研修会を通し、多様な生徒への対応について、見識を深めることができた。</p> <p>② 進路活動では生徒の大半が身だしなみを整えることができた。</p>	<p>① 様々な問題を抱える生徒に対応するため、外部機関との連携を深める。</p> <p>② 生徒の進路希望を実現させるために、挨拶やマナーなどの指導を充実させる。</p>	<p>① 定期的にケース会議を開き、多様な生徒の状況を把握していることは評価できる。</p> <p>② 生徒の声を聞く場面、評価してあげる場面を多くして、自己肯定感を高めてほしい。</p>	<p>① SCによる講演、特別支援学校の教員による講演を通して進路実現につながる指導の研修を行うことができた。</p> <p>② 進路実現につなげる生徒指導を組織的に行う必要がある。</p>	<p>① 生徒が抱える多様な課題の解決のために、外部人材を適切に活用する。</p> <p>② 生徒指導の年間計画を立て、組織的に進路実現につながる生徒指導を行う。</p>

3	進路指導・支援	<p>① 生徒の進路意識を高め、進路希望に向けた指導の充実を図る。</p> <p>② 学習指導・生徒指導と進路指導のリンクを図る。</p>	<p>① 早期に適切な職業意識を持たせる。</p> <p>② 進路指導をとおして学習に対する意識の向上を図るとともに、進路実現につながる学習指導や生徒指導を行う。</p>	<p>① 全学年に対し、多様なキャリアガイダンスを企画・運営する。</p> <p>② 学務Sと連携し、日々の学習と進路の関連について指導する。</p>	<p>① 進路活動に取り組む生徒の数が増えたか。</p> <p>② 生徒による授業評価において、学習に対する姿勢に向上が見られたか。</p>	<p>① 卒業予定者については進路意識が高まり、夏休み前から進路活動に取り組むなど、7割以上の生徒が進路を決定することができた。</p> <p>② 生徒による授業評価において、約7割の生徒が意欲的に学習したと回答した。</p>	<p>① 進路意識が十分でない生徒がまだ多いので、1年生から継続的にキャリア教育を行っていく。</p> <p>② 今後さらに進路実現と学習を結びつけた指導を行っていく。</p>	<p>① 例年より進路活動に取り組む生徒が増えたことは大変良いことである。</p> <p>② 今後も「～ができた」という具体的な達成感の積み重ねが、進路意識の向上につながるよう学習指導をお願いしたい。</p>	<p>① 計画的指導により、70%以上が進路決定した。（進学4割・就職6割）</p> <p>② 進路指導と学習指導・生徒指導をより関連させるために、学習指導だけでなく学校行事においても振り返りをする場面をつくる必要がある。</p>	<p>① 1・2学年の頃から卒業後の進路について、多様な選択肢があることを提示し、進路意識のさらなる向上を図る。</p> <p>② 「考える・話す・書く」という活動を学習活動と学校行事の両方に取り入れていく。</p>
4	地域等との協働	<p>① 地域との連携を深め、地域に信頼される学校づくりを進める。</p> <p>② 教育活動における地域連携を推進する。</p>	<p>① 学校における教育活動のさまざまな機会をとらえて、地域学習を行い、地域への理解を深める。</p> <p>② 生徒会活動や部活動などで、地域連携を進める。</p>	<p>① 各教科の学習や総合的な学習の時間、防災教育など、さまざまな場面で地域学習の機会を作る。</p> <p>② 生徒会や部活動などで挨拶運動や地域の清掃などを行う。</p>	<p>① 地域理解につながる学習の機会をつくることができたか。</p> <p>② 生徒が自己肯定感を高めることができたか。</p>	<p>① 地理や日本史で地域についての学習を行ない、理解を深めた。</p> <p>①② 地域貢献活動では、はじめて町内会と連携しながら地域清掃を行った。自主的な地域清掃にも30人以上の生徒が参加した。また、公郷こども園と連携を図りながら、ミニ文化祭を実施した。</p>	<p>① 地域清掃活動の機会を増やし、地域に信頼される学校づくりをさらに進める。</p> <p>② 学校行事や地域清掃等において、地域の方々とよりコミュニケーションを図りながら、実施していく。</p>	<p>① ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のことを知ることから地域連携を始めるのは良い取組である。 ・町内会と一緒に地域清掃をするのは、顔を覚えてもらうことにもなり、地域にとっての学校理解にもつながる。 ・公郷こども園をはじめ、地域との連携は良い取組で双方にメリットがある。 	<p>① ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会との地域清掃、こども園のミニ文化祭への参加など、地域連携が進んだ。 	<p>① ②</p> <p>自己肯定感を高めるため、より一層、地域等との連携・協働をすすめる。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>① 安全、安心な学校づくりを推進する。</p> <p>② すべての教員が教育課程の変化と課題に積極的に取り組む学校運営を行う。</p>	<p>① 防災教育、防災管理の充実を図り、安全・安心な学校づくりを進める。</p> <p>② 教員一人ひとりが学校課題の把握に努め、解決に向けた方法について全体で共有していく。</p>	<p>① 学校の教育施設における危険箇所確認、非常時の避難方法などを確認する。</p> <p>② 情報収集と分析を行い、解決方法を検討・策定・遂行する。</p>	<p>① 避難訓練等の生徒アンケートにおいて、防災教育や防災管理について肯定的な評価が得られたか。</p> <p>② 職員会議等で学校課題の把握、分析、解決方法について適切にとりあげられることができたか。</p>	<p>① 避難訓練の生徒アンケートにおいて、92%が「真剣に取り組んだ。」と回答した。</p> <p>② 職員会議等において、校外で行われた説明会等に関する復命研修を実施し、課題の共有を図った。</p>	<p>① 今年度はグラウンドへの避難を初めて行ったが、夏の明るい時期での実施だったため、次年度は冬の暗い時期での訓練を計画する。</p> <p>② さまざまな教育課題に関する職員研修会充実させる。</p>	<p>① 今後、避難訓練を暗くなってからの時間に行うことは、様々な災害に備える点からも良いことである。</p> <p>① 多くの教育課題について職員が認識を深め、適切な対応がとれるよう、職員研修を充実させてほしい。</p>	<p>① はじめてグラウンドへの避難訓練を実施したのは、良い経験となった。</p> <p>② 職員会議時の復命研修によって、課題の把握や情報共有が深められた。</p>	<p>① 秋から冬にかけて暗くなってからの避難訓練を実施する。</p> <p>② 職員会議時の復命研修に加え、さまざまな教育課題について職員研修会を実施する。</p>